



Shuntaro Aoki 一級建築士・青木俊太郎の建築の知識が豊かなコラム

## 旅と僕と名建築

神奈川県立図書館  
@神奈川県横浜市



今回紹介する建物は神奈川県横浜市にある「神奈川県立図書館」。有限会社BACHの幅氏監修のもと、設計やロゴマーク作成、サイン計画、家具計画などそれぞれのエキスパートが参画して計画されました。

この建物のデザインに大きく影響を及ぼしているのが旧神奈川県立図書館です。建築家・前川國男が手掛け、このエリア一帯のシンボルとなっていました。今後は「前川國男館」としてリニューアルオープンされる予定です。

建物の中に入ると中央に4階まで突き抜けるらせん階段があります。落下防止用の薄い金属板を折り合わせて作られており、存在感がありつつも軽くシャープな印象を受けました。建物の形状が正方形に近い場合、中央に採光を取り込むのは一般的に難しいですが、らせん階段上部にトップライトを設けることで採光が確保されていて明るく開放的でした。

旧館のデザインを引き継ぎ、日射を制御しながら自然光を室内に取り入れるホローブリック(有孔煉瓦ブロック)を利用したカウンスターがエントランスで迎えてくれます。事前に旧館を見ていたため、デザインを踏襲しているのだと理解できました。

歴史を受け継ぎつつ、サイン計画は現代風にアップデートされている点が弊社のデザインにも共通する部分があり、とても勉強になった名建築でした。

印象を受けました。建物の形状が正方形に近い場合、中央に採光を取り込むのは一般的に難しいですが、らせん階段上部にトップライトを設けることで採光が確保されていて明るく開放的でした。

旧館のデザインを引き継ぎ、日射を制御しながら自然光を室内に取り入れるホローブリック(有孔煉瓦ブロック)を利用したカウンスターがエントランスで迎えてくれます。事前に旧館を見ていたため、デザインを踏襲しているのだと理解できました。

歴史を受け継ぎつつ、サイン計画は現代風にアップデートされている点が弊社のデザインにも共通する部分があり、とても勉強になった名建築でした。

**旅のおしえ** ~色の効果と組み合わせ~

この設計プロジェクトでは家具計画のエキスパートが選定した家具が配置されています。外観はシンプルな無彩色ですが、絨毯や椅子など部分的にビビッドで鮮やかなブルーを用いることで、ワンランク上質な空間に仕上げていました。

Ria Niyama トイレ研究者・日山莉愛のトイレデザインレポート

## トイレデザイン日記

代々木公園トイレ  
@東京都渋谷区代々木



今回は東京・渋谷区17カ所の公共トイレを世界で活躍する16名の設計士・デザイナーが個性豊かなトイレに生まれ変わらせた「THE TOKYO TOILET PROJECT」の中から、はるのおがわコミュニティパークと代々木公園のトイレをご紹介します。

人が入っていない時は外壁が透明で、中に入ると鍵を掛けると不透明になるのも特徴的です。中に入ると透けなくなるという当初の仕掛けは無くなったものの、今までのどんよりとした雰囲気から明るくカラフルなトイレに生まれ変わり、こども達がたくさん遊びに来る公園に適していると感じました。

「誰でも使えるように」と男女のイメージカラーにとらわれずにまとめられ、まさに現代の考えに沿って作られたトイレでした。

用しやすいように工夫したそうです。

しかし、鍵のかけ忘れや故障などで「透けない仕様のトイレになっていました。はるのおがわコミュニティパークは青緑・黄緑・水色。その近くにある代々木深町小公園はオレンジ・ピンク・紫がそれぞれの個室を彩っているのも特徴的です。中に入ると透けなくなるという当初の仕掛けは無くなったものの、今までのどんよりとした雰囲気から明るくカラフルなトイレに生まれ変わり、こども達がたくさん遊びに来る公園に適していると感じました。

「誰でも使えるように」と男女のイメージカラーにとらわれずにまとめられ、まさに現代の考えに沿って作られたトイレでした。

代々木公園トイレ 〒151-0053 東京都渋谷区代々木5-68-1 営業時間/24時間

このトイレを設計した坂茂はアメリカで建築を学び、世界で活躍している建築家です。素材の特性を生かした建築が特徴的で、特に彼の手掛けた下瀬美術館はおすすめです。

Follow Me / トイレ研究者・日山 Instagramはこちら!

Masumi Abasaba デザイナー・赤坂真純が全国のスタバの魅力を発信

## MY STARBUCKS

中目黒 高屋書店  
@東京都目黒区上目黒



今回ご紹介するのは高屋書店と一緒にいる中目黒 高屋書店です。中目黒駅の改札を出てすぐ、横断歩道を渡った目の前の高架下であり、アクセス抜群です。店内には4つのエリアがあり、文房具があるエリア、本があるエリア、おしゃべりができるカフェエリア、仕事や読書などができるカウンスターエリアに分かれていました。

店内は一人や二人の利用客が多く、それ以上の人数だと少し狭いように感じました。赤いソファがある空間は他店にはないとてもレトロな雰囲気、レジ隣には迷路のようなデザインが見入ってしまうほどコンパクトのある、アーティストの岩村寛人さんが手掛けたデザインウォールがありました。この作品が人気になったことをきっかけに、今では複数のスターバックス店舗で店内アートを手がけているそうです。

中目黒といえばスターバックスリザーブロースタリー東京を思い浮かべますが、こちらの店舗はとてもコンパクトな空間で、これまた特別な一杯となりそうです。

悩んでいる時、仕事をしたい時、読書をしたい時、一日何回でも行ってしまいたくなる空間、そこが「MY STARBUCKS」。

今回ご紹介するのは高屋書店と一緒にいる中目黒 高屋書店です。中目黒駅の改札を出てすぐ、横断歩道を渡った目の前の高架下であり、アクセス抜群です。店内には4つのエリアがあり、文房具があるエリア、本があるエリア、おしゃべりができるカフェエリア、仕事や読書などができるカウンスターエリアに分かれていました。

店内は一人や二人の利用客が多く、それ以上の人数だと少し狭いように感じました。赤いソファがある空間は他店にはないとてもレトロな雰囲気、レジ隣には迷路のようなデザインが見入ってしまうほどコンパクトのある、アーティストの岩村寛人さんが手掛けたデザインウォールがありました。この作品が人気になったことをきっかけに、今では複数のスターバックス店舗で店内アートを手がけているそうです。

中目黒といえばスターバックスリザーブロースタリー東京を思い浮かべますが、こちらの店舗はとてもコンパクトな空間で、これまた特別な一杯となりそうです。

悩んでいる時、仕事をしたい時、読書をしたい時、一日何回でも行ってしまいたくなる空間、そこが「MY STARBUCKS」。

スターバックスコーヒー 中目黒 高屋書店 東京都目黒区上目黒一丁目22-10 営業時間/7:00-22:00

高屋書店と一緒にいるSTARBUCKS。落ち着いた空間にはお洒落な本がたくさん置いてあり、新たなアイデアや発想が生まれそうな場所です。

Follow Me / デザイナー・赤坂 Instagramはこちら!

Dawei Li プロジェクトマネージャー・李大偉がスムーズな建設プロジェクト方法を紹介

## プロジェクトマネジメントのコツ

Vol.30 倉庫や工場で太陽光発電を導入する際の注意点

太陽光発電を導入する際、まずは倉庫や工場が太陽光パネルの重さに耐えられるのかどうかを確認しましょう。太陽光パネルは1枚20kgもの重さがあるため、これを屋根に敷き詰めるとかなりの重さになります。現行の耐震基準を満たす建物であれば基本的に問題はありませんが、倉庫や工場の建築時の場合、施工会社に太陽光発電の設置を検討している旨を相談しておきましょう。築年数の古い倉庫や工場への設置を考えている

場合は耐震補強が必要となるケースがあります。太陽光発電の設置には複数の業者の中から相見積もりをとって価格を比較し、過去の実績なども確認しましょう。太陽光パネルの設置工事の際、屋根の施工不良のために雨漏りが発生するようになってしまったという事例も少なくありません。

価格やサービス内容、担当者の対応など、あらゆる要素をチェックした上で、依頼する業者を決定することをおすすめします。

Ayana Morii グラフィックデザイナー・森居綾那のリアル子育て絵日記

## おかーさんえにっき



IF YOU WANNA BE UNLIMITED, YOU SHOULD READ THIS!

19UNLIMITED PROJECT DRIVE & DESIGN

TEL 019-601-6619 FAX 019-601-6719 SITE 19unltd.co.jp

Instagramはこちら!

## ＜ ジュークの最新ニュースはこちら ＞

**NEWS**

いわて希望応援ファンド助成金採択

「ブランディング×設計に特化した販路開拓」事業が評価されました。ジュークの強みである人が集まる本社、工場をますます多くの方々にお伝えできるようスタッフ一丸となって頑張っています!

**NEWS**

8/16(金)-20(火)@盛岡市 ジューク初! 企画展開催決定

ジュークがこれまでに岩手・全国で手がけた「ブランディング×建築」を集めた企画展を開催することになりました。事例となる企業様は15社以上! 岩手県をはじめ多くの地元メディアに後援を頂き光栄です。

詳細はこちら→

**NEWS**

2024 新ビジュアル公開

5/19創業記念日前後に毎年撮影しているスタッフ写真。今年はコーポレートカラーのモノトーン衣装ver.と「19歳の頃のフレッシュな気持ちを忘れない」若さを象徴するデニム衣装ver.の2種を撮影しました。

**INFORMATIONS**

●7/24-26 デザインスクール@東京 ●8/16-20 19企画展「コーポレートブランディングと建築展」@盛岡(教育会館ふれあいギャラリー) ●9/21 19CLUBブランディングツアー @下関・小倉

ブランディングに役立つ本と映画ご紹介

ジュークおすすめ! BOOK

盛岡愛は揺るがない。盛岡本

エイ出版社の街ラブ本編集部(著) 2019年3月 / ステレオサウンド

ジュークおすすめ! MOVIE

終わった人

2018年 日本 監督: 中田 秀夫 主演: 錦ひるし・黒木 曜

「リング」の監督中田秀夫が、盛岡に縁のある作家・内館牧子氏のベストセラー小説を映画化。仕事一筋、元一流企業のサラリーマンが定年後やることのない... という情けない男に。ジュークにとって馴染みのある盛岡の景色が多数登場。多くの市民がエキストラに参加しました。盛岡歩きの前習にもぴったりな一作です。

# ブランディングツアー 遂に地元岩手開催！



5/16-17にジュークアンリミテッドのオフィスがある岩手県盛岡市でブランディングツアーを開催

## ツアー史上最高の企業視察数

2019年冬、台湾ツアーを皮切りに始まったブランディングツアー。今回、国内開催としては過去最高の企業視察数を設定しました。地元岩手はブランディングに取り組む企業が多く、参加者・ホスト企業を合わせて総勢50名を超えるメンバーが関わりました。ツアー初日は、最近メディアで見ない月がないほど注目度急上昇中の五日市塗装工業様を見学。2日目はジュークアンリミテッド創業時からブランディングに取り組んでいる小田島組様。新社屋設計をお手伝いさせて頂き、視察者が年々増えている信幸プロテック様。さらに花巻市の商店街で人が集まるレンタルスペースを運営しているカゲツドアーズ様に訪問しました。

## 「初めて」がたくさんのツアー

今年に入り、新たにブランディングに取り組む仲間が増えた19CLUB。今回のツアーでは、19CLUB入会後初めてツアーに参加するメンバー、初めてのクラブメンバーに会う方もいらっしゃいました。いつもは「元気？久しぶり」という挨拶から始まるが多いのですが、今回は「はじめまして」と挨拶し合う姿が初々しく

とても新鮮でした。初日のホスト企業を務めた五日市塗装工業様はブランディング活動を初めて社外に向けて発表する機会となりました。ジュークにとって慣れ親しんだ地元岩手で「初めて」をたくさん経験してもらい感慨深いツアーとなりました。

## 初の視察受け入れ

昨年からブランディングを取り入れた五日市塗装工業様は、今回初めてホスト企業として視察受け入れをしてもらいました。ツアーに何度か参加されていますが、受け入れ側は初体験。見るのとやるのでは大きな違いがあります。昨年末にホスト企業となることを決めてから約半年の準備期間を重ね、ブランディングチーム+現場スタッフ総出で対応してくれました。塗装業らしく、盛岡市内のマンション改修現場から見学がスタート。参加者は外部足場の高さに足がすくみながらも、着替えて職人さん達に指導してもらいながら、壁面塗装を体験。筆とローラーを手に初めて他のクラブメンバーに会うように夢中で塗装し、塗装業に対する理解と好印象を持ったようでした。現場体験の後はジューク本社に移動。晴山社長+ブランディングチームより

ブランディングを取り入れたきっかけ、変化、課題などを発表してもらいました。最後は参加者も交え、ブランディング企画を考えるワークショップを開催。参加者はブランディングを取り入れてから1年ちょっととは思えない姿に驚き、若い社長とチームメンバーの終始和やかな関係性を目の当たりにし、自社との違いを考えるきっかけになりました。

## 視察受け入れは成長機会

初めて視察受け入れをしてみたの感想を伺ったところ「ブランディング導入当時はこうやって話す日が来るとは想像できなかった」「他社に見学に行った時は『うちはこんなに話せることがない』と思っていたけど、皆さんにお伝えできることが増えて自分たちでも驚いている」とこれまでの道のりを振り返りながら話してくれました。参加者からは「一生懸命で好印象」「話の内容、変化にとても共感した」「夢中になって没頭する機会が少ないから塗装体験は楽しかった」と、五日市塗装工業様の心配をよそに好評価でした。

今回は9/21(土)下関市でユタカ電業様の新社屋竣工パーティーに参加できるツアーをご用意しています。



大人の塗装体験



参加者同士のワークショップ



ブランディングの軌跡を発表

進行中プロジェクトをチラ見せ！

2024  
NO.30

ON-GOING PROJECTS



## 株式会社ニュートン

岩手県八幡平市 / 精密プラスチック部品製造

## 「はじめよう」新工場+ブランディング@岩手 ～ 50周年を目指すスタートアッププロジェクト～

ご紹介がきっかけで2023年夏より始まったニュートン様とお付き合い。プラスチックパーツ製造を岩手県八幡平市で行っており、岩手山を正面に捉える絶好のロケーションで企業活動をされています。今年12月には新工場が完成予定。ジュークではブランディング、販促ツールデザイン、新工場の内装・サインデザイン、建設サポートをお手伝いしています。

### 新工場建設をきっかけに ブランディング着手

昨年秋から、新工場のカラーリングの検討をきっかけにコーポレートブランディングに着手しました。ニュートンの歴史、DNAから目指す未来などを整理しました。ミーティングを経て、コーポレートカラーは開発・挑戦し続ける未知の領域、余白を連想させる「白」。社名のニュートンから連想するリングの中でも挑戦が芽吹く＝完成を目指すという想いを込めて青リングの「アップルグリーン」を採用しました。何をやるにしても社員の参画度合いが低いことに課題を感じていたチームメンバー。そこで、新ロゴはジュークのデザインではなくあえて社員公募することを提案。集まらないのでは…というメンバーの不安をよそに、なんと100件を超える応募がありました。その中から社名のNとリングを掛け合わせたアイディアが採用され、これから販促ツールや工場のサインなどに転用されます。

### 挑戦し続けるDNA「はじめよう」

ニュートン様らしい取り組みやルールをまとめた会社概要を現在作成中。内容を考える過程でニュートンらしさは創業時から続く「挑戦」が根底にあることがわかりました。成形加工をする

ための金型や自動機も社内で制作しています。現在の事業は、車載・医療・電力など多岐分野に渡るようになりましたが、「無いものは、自分で創る」という創業者・田面木会長の考えから新しい分野に現在も挑戦し続けています。挑戦の中には数えきれない失敗もありましたが、失敗から学び挑戦し続けることが個人と企業の成長、さらには地域の発展につながると思っています。そこで導き出した言葉は「はじめよう」。立ち止まることなく、未知の領域を開拓し続ける開拓者マインドをこれからも社員に持ってほしい、という想いが込められています。

### 50周年を目指すプロジェクト化

新コーポレートカラー・ロゴマーク、取り組み・ルールの刷新、新工場計画と既に多くのアクションをしてきたニュートン様。夏物のユニフォーム導入も決まっています。この先は新工場完成に向けた社内外イベントも計画中で、たくさんの「はじめよう」アクションが控えています。それらをプロジェクト化することで、多くの施策をまとめることを提案しました。2036年に50周年を迎えますが、現在の視点で物事を考えるのではなく、理想とする未来からのバックキャストで物事を考えていけるよう「START-UP-50th PROJECT」と銘打って中長期的なプロジェクトにしました。50周年までに大小様々な「はじめよう」アクションを積み上げていきます。

### 2025年春オープンファクトリー

今年冬に松尾八幡平ICすぐの広大な土地に新工場が完成。2025年～オープンファクトリーとして見学受入予定なので、楽しみにしててください！

## No.30 加藤の社長ブログ

Design Executive Officer

# DEO NOTE



### 企画展に挑戦することになりました

この夏、初の試み。会社の事例を一挙に集めた企画展「岩手発 コーポレートブランディングと建築展 -地域と未来をリードする会社とジュークの仕事-」を開催することにしました。当社のクライアントはブランディング・設計によってワンステップ上に行った岩手、全国の中小企業さん達です。元気な中小企業が街を盛り上げる。そんなことをお伝えしたくて企画しました。

創業から丸6年が経ち、ブランディング・デザイン・設計の事例が溜まってきたタイミングでもあり、お見せできる物が増えてきて最近では「何をしている会社なのか」少しずつ伝えやすくなってきました。事例の整理、クライアントを含む関係者への感謝、そして社員が仕事に誇りを感じるシーンの設定。これは当社でも個展をやるべきだと、直感的に思いました。

建物のお披露目式や周年イベントなど“場”のブランディング・プロデュースも当社は承っています。個展は企画・デザイン・販促まで一貫してできるので、会社ができることを示す事例にもなります。これができれば新たな集客方法として「個展・企画展を開催する」というクライアントさんへの提案にもつながります。

昨年、友人が個展を開催したことに触発されたことに始まり、会社の挑戦や成長を促すために今年個展をすると決めました。できることが多く、未だ一言で事業内容を言い切れず…何屋さんか紹介が難しい弊社。スタッフのご家族、ご友人にも「ほう。〇〇はこんな仕事をしているのか！」とわかって頂けるスタッフ向け授業参観でもあります。岩手の方に、地元の事例だけでなく全国のイケてる企業事例も公開します。ぜひ、岩手に全国から足をお運び頂けると嬉しいです。

(気になる記事の続きは下記二次元コードから)

note

上記ブログの続きは右記二次元コードから「note」で読めます →

